

記者発表資料（資料配布）				
月/日	担当課	TEL	発表者名	その他の配布先
7/3 (水)	環境部 自然鳥獣共生課	内線 3326 TEL078-362-3389	自然鳥獣共生課長 森田 直子 (副課長兼自然環境保全班長) 永田 育子	なし

## 特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の発見について

サクラやモモ・ウメなど主にバラ科の樹木を加害する特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の成虫が、明石市の石ケ谷公園（大久保町松陰）付近の民地で確認されました。

本県では、令和4年度以降、明石市のほか、神戸市、芦屋市、西宮市の4市で同カミキリの侵入が確認されています。

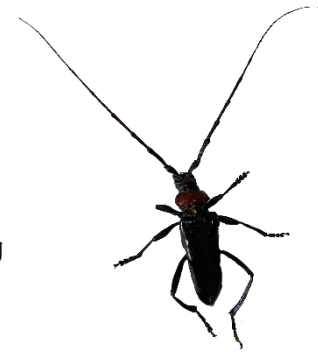
今年6月中旬には、神戸市北区で同カミキリの被害を受けた木を伐採した際にも、成虫が確認されるなど、成虫が活動するシーズンに入っており、今後一層の警戒が必要です。

### 1 捕獲時の状況

- (1) 捕獲日時 令和6年7月2日（火）
  - (2) 捕獲場所 明石市の石ケ谷公園付近の民地（建物の2階）
  - (3) 捕獲個体 成虫1頭（オス）
- ※ 捕獲した個体は専門家が殺処分

### 2 本県の対応

専門家と民地の周囲を調査したところ、ほかに成虫やフラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）は確認されませんでした。引き続き、石ケ谷公園周辺の警戒を図るとともに、発見した場合は、樹木への薬剤注入や防除ネットによる被覆など、対策を講じていきます。



今回見つかった成虫（オス）  
※捕獲の際、脚が一部欠損

### 3 県民の皆さんへのお願い

現在、クビアカツヤカミキリは成虫が活動するシーズンに入っています。

このカミキリは、サクラやモモ・ウメなどバラ科の樹木を好みます。成虫が樹木の中に卵を産み付け、幼虫が木の内部を食い荒らすことで、木を弱らせたり倒木などの被害を発生させます。

県内での被害を防止するには、何よりも早期発見・早期防除が重要です。県民の皆様には、クビアカツヤカミキリや疑わしいフラスを発見した場合、県または地元自治体窓口への通報にご協力をよろしくお願いいたします。

《できればメールで》

- ・成虫、フラスの発見日時・発見場所・発見時の状況を連絡してください。
- ・できれば写真を撮影して提供願います。
- ・成虫を捕まえた場合は、その場で殺処分してください。
- ・死んでいる個体でも、見つけた場合は連絡をお願いします。

《県の通報先》

兵庫県環境部自然鳥獣共生課

メールアドレス shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp

電話 078-362-3389

（参考）特定外来生物とは・・・

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（外来生物法）に基づき、生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来生物として環境省が指定した生物。指定されると、原則として、飼養、栽培、保管等が禁止され、防除の対象。このため、生きたまま持ち運ぶことは禁止。

## 【参 考】

### クビアカツヤカミキリの特徴

全国各地で侵入が確認されているクビアカツヤカミキリは、人体に害はない昆虫であるが、サクラやモモ・ウメなどバラ科の樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らすことで、農業被害や倒木などの被害を発生させる。

- 黒い体に赤い首、体長は2～4 cm
- 大変繁殖力が強く、成虫は5月末～8月に活動、樹皮に最大で1000個近くの卵を産む。
- 幼虫は、樹木の内部を食い荒らし、フラス（木くずと幼虫が出す排出するフンが混ざったもの）を大量に出しながら2～3年かけて成長する。このため、食害が進むと樹木が枯死し、ウメ・モモなどの果樹園では、農業被害の発生、公園や街路樹等では倒木などの被害の発生が懸念される。



※ 現在 13 都府県で確認され、分布が拡大している。兵庫県に隣接する大阪府及び徳島県では 2015 年から侵入が確認され、その後、2019 年に奈良県及び和歌山県での侵入が確認されている。